



高田小学校だより

1月号

No. 1 0

【教育目標】

自ら学び 心豊かで
たくましく生きる児童の育成
令和4年12月23(金)
文責：校長 博多弘泰

タブレット端末の活用

社会が急激に変化し、将来の予測が難しい社会においては、情報や情報技術を受け身で捉えるのではなく、主体的に選択し活用していく力が求められ、ICT（情報通信技術）を手段として効果的に活用していくことの重要性は一層高まっています。学校の生活や学習においても、ICTを日常的に活用していくことが不可欠となっています。文部科学省の「教育の情報化に関する手引」では、これからの学びにとっては、ICTはマストアイテム（絶対に必要なもの）であり、ICT環境は鉛筆やノート等の文房具と同様であることが書かれています。本校でも、町から全校児童に1人1台の学習用タブレット端末が貸し出され、ICT支援員の活用を図りながら系統的な指導を行い、各学年の実態に応じて一斉学習、個別学習、協働学習に活用しています。その中で大切にしなければならないことは、時代を超えても変わらないものである「不易」の部分、すなわち、教育における基礎基本の「読み書き計算」だと思えます。今後、「不易」と社会の変化に対応したタブレット端末の活用を融合させながら、子ども一人一人の学力向上に努めていきたいと思えます。



海外とのオンライン交流

12月6日(火)、6年生は、新鶴小・宮川小・本郷小と一緒にオーストラリアのパースにある附属中学校 Ursula Frayne Catholic College の生徒とオンライン交流を行いました。初めてのことで、子どもたちはとても緊張していましたが、時間が経つにつれて慣れ、楽しみながら交流していました。日本にいながらオーストラリアの様子をリアルタイムで感じたり、異文化に触れたりすることができ、とても素晴らしい体験だったと思えます。



メディアコントロール

4年の学級活動で、「メディアコントロールをしよう」を題材として授業が行われました。タブレット端末でのアンケート結果を基に、メディアに関わっている時間の多さに気付き、メディアとの望ましい関わり方について学びました。その中では、宿泊学習でのノーメディア生活を想起したり、メディアによる心身の影響について確認したりしました。メディアを長時間使用すると、運動能力や体力の低下、学力低下、視力低下、睡眠時間が不足することによって脳の発達への影響など多くの弊害があります。学校だより9月号でも書かせていただきましたが、子どもが「自分でルールを決めて守っていく」という自律の視点が大切だと思えます。



1月の行事予定

- 10日(火)第3学期始業式 短縮5校時給食有
- 12日(木)発育測定1~3年 あやめ とちの木
- 13日(金)発育測定4~6年
- 23日(月)放送朝の会
- 26日(木)学力テスト(1~4年：国 5~6年：英)
- 27日(金)学力テスト(1~4年：算 5~6年：国算)

第3回学校運営協議会

12月13日(火)に第3回学校運営協議会が行われました。「高田中学校区として目指す子ども像」を熟議のテーマとし、班別による付箋紙を用いたワークショップ型の話し合いを行い、その後、全体で共有しました。今回出された意見は、次年度の学校運営ビジョンに反映していく予定です。

